

G suite for Education の利用について

- ◎ G suite for Education の機能のうち、Classroom というアプリを中心に活用します。
- ◎ Classroom を活用する狙いは、大きく次の二点です。
 - ① 教員やクラスメートとの双方向のやりとり継続させることによる、こどもたちの心のケア
 - ② 教員が適切に課題をコントロールすることによる学習習慣の継続
- ◎ G suiteを利用する機器は、「保護者のスマートフォン等」および「児童生徒が利用可能な家庭のICT機器（スマートフォン、タブレット、パソコン等）」です。こどもの利用できる機器がない場合、保護者の機器のみでの利用をお願いいたします。
- ◎ Classroom による課題の運用イメージは下記のとおりです。あくまで最低限の利用のイメージであり、学校や学年等に応じて柔軟に対応を変えていくことになりますので、ご了承ください。

【課題の運用イメージ】

- ① 先生が課題を考えて Classroom で配布します。
※教員の勤務時間中に配布します。



- ② 各家庭で課題を確認し、課題に取り組みます。課題の内容は、学年により異なりますが、コンピュータがないとできない課題だけにならないように配慮します。



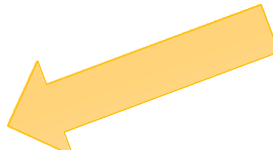
- ④ 先生は提出された課題を評価します。また、その内容を踏まえて次の課題を作成します。



- ③ できた課題を提出します。紙で回答したものは、写真をとって添付して送信します。



- ⑤ 前の課題の評価を確認し、次の課題に取り組みます。



わからない場合や困った場合は、先生に相談できます。個別に相談したいときは、メールを送ることもできます。

※教員からの回答は勤務時間（8:15～16:45）にのみ行います。

日中こどもだけでは ICT 機器が使えない家庭を想定し、最低限、課題および評価の確認と課題の提出のときだけ Classroom を使えば足りる運用としています。

あくまで最低限のイメージですので、学校や学年によって運用は異なりますが、ご理解願います。